



リーダーは、「何を言うか」だけでなく、「どのような声で伝えるか」が大切

今回は、7月29日(水)15時より開催予定の『アメフトで5度日本一を勝ち取った異色のボイストレーナーが教える「人・組織を動かすリーダーの声」研修体験セミナー』についてご紹介をさせて頂ければと思います。

リーダーシップやマネジメントについて学ぶ機会は数多くあります。

しかし、どれほど優れた戦略や方針を持っていても、それがメンバーに伝わらなければ組織は動きません。

実は、人を動かすリーダーには共通点があります。

それは、「何を言うか」だけでなく、「どのような声で伝えるか」を意識していることです。

リーダーの声には、その人の姿勢、思考、感情、覚悟が現れます。自信のない声は不安を伝え、落ち着いた声は安心感を与えます。同じ内容でも、声の響きや伝え方によって、相手の受け取り方は大きく変わります。

本セミナーでは、アメリカンフットボールの司令塔であるクォーターバックとして、また司令塔育成コーチとして5度の日本一を経験した講師が、長年の指導経験から得た「人を動かす声」の本質をお伝えします。

当日は、講義だけでなく実際に身体を動かしながら学ぶ体験型プログラムを実施します。

まず、「人の心を動かす声とは何か」を学び、その後、講師独自のメソッドを体験します。

- ・声を出しやすくするマッサージとストレッチ
- ・呼吸を整えるトレーニング
- ・響きと通りを改善する発声法
- ・声に言葉を乗せる実践ワーク

などを通じて、自分自身の声の変化を体感していただけます。

また、セミナーの冒頭と最後に自己紹介ワークを実施します。同じ内容を話しているにもかかわらず、声の出し方や身体の使い方が変わるだけで、相手に与える印象や説得力が大きく変わることを実感いただけたらと思います。

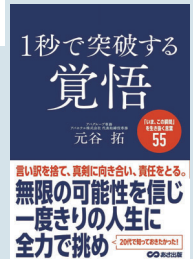
(裏面へつづく)



声のトレーニングも、これまでたくさんやってきましたが、そこに組織マネジメントの要素をいれた研修プログラムは初めてです。確かに話す内容も大切が、その声がみんなをひきつけ、相手のところに落ちるように思います。

## Next Seminar

7 FRI  
3



Jul,3,2026

『1秒で突破する覚悟』出版記念セミナー～「いま、この瞬間」を生き抜く言葉55～

本書では、「受け身で生きるのか、自ら取りに行くのか」という視点を軸に、挑戦する姿勢、行動することの大切さ、縁と運が集まる人とは、そして人生のハンドルを自ら握る覚悟について、実体験を交えながら語られています。

今回の出版記念セミナーでは、本書の内容はもちろん、本に書ききることのできなかった部分までご本人の口からお話をお聞きすることができる貴重な機会です。

詳細はこちらです。  
<https://entrelabo.co.jp/public>

7 WED  
29



Jul,29,2026

アメフトで5度日本一を勝ち取った異色のボイストレーナーが教える「人・組織を動かすリーダーの声」研修体験セミナー

本研修では、講師がアメリカンフットボールの司令塔・クォーターバックとして、また司令塔育成コーチとして計5回の日本一を経験する中で培った知見と、身体・呼吸・声・心を調え、自分自身の軸を作る「禪ボイス®」メソッドを融合させたプログラムで、「人の心を動かす声」の本質を体感的に学びます。

詳細はこちらです。  
<https://entrelabo.co.jp/public>

今回の体験セミナーで講師を務めるのは、新生剛士氏です。

さらに 2019 年にはブラインドサッカー男子日本代表のボイストレーナーに就任し、東京パラリンピックでの活躍を支えました。

『禅ボイス®』代表として活動するボイストレーナーでありながら、アメリカンフットボール界では司令塔育成のスペシャリストとして知られる異色の経歴の持ち主です。

新生氏が伝えるのは、単なる発声法ではありません。

「声は生き方そのものである」

新生氏は、アメリカンフットボールのクォーターバックとして、またクォーターバックを育成するコーチとして、計 5 度の日本一を経験。

という考え方です。どれだけ立派な言葉を並べても、声に迷いや不安があれば相手に伝わりません。逆に、落ち着きや覚悟が声に宿れば、人は自然と耳を傾けます。

さらに 35 歳でアメリカプロリーグデビューを果たしたという実績を持っています。

AI 時代だからこそ、人にしかできない「人を動かす力」が求められています。

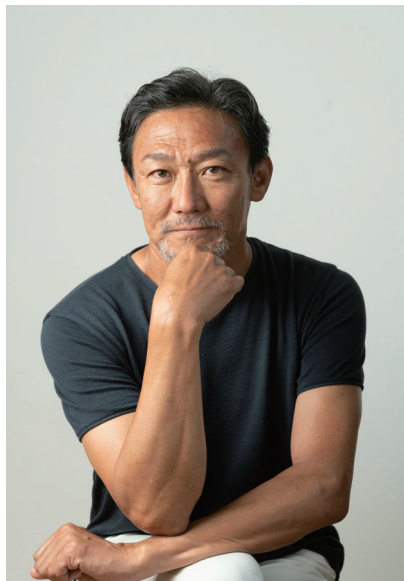
クォーターバックは、チーム全体を動かす司令塔です。

その力を支えるのが、リーダーの声です。

瞬時の判断力はもちろん、仲間からの信頼を得ること、プレッシャーの中で冷静さを保つこと、そして言葉と声でチームをまとめる力が求められます。

ぜひ、新生氏の豊富な経験と独自メソッドに触れながら、リーダーとしての新たな可能性を体感してみてください。

新生氏は、その経験をもとに 15 年以上にわたり「QB 道場®」を主宰し、1,000 名を超える選手たちの育成に携わってきました。



また 2005 年からはアーティスト楠瀬誠志郎氏に師事し、本格的にボイストレーニングを学びます。

そしてスポーツ現場で培ったリーダーシップ論と発声理論を融合させた独自メソッド『禅ボイス®』を開発しました。

現在では企業研修講師としても活躍しており、大手保険会社やメディア、メーカーなど、多くの企業や組織で研修を実施しています。



【コラム執筆】

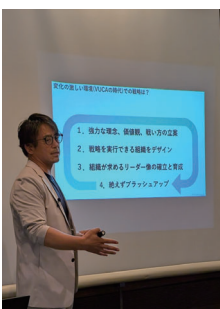
人と人、人とコトの仲をつなぐ  
仲津定宏

新生さんとは、知り合いの講師からのご紹介でご縁を頂きました。

最初の印象はもちろん、良い声をしているということですが、その声をもとにした独自メソッドがユニークだと思いました。

セミナー実施報告

ビジネス環境の変化が激しくなると戦略はどう変わるのか? ~ PDCA サイクルと OODA ループ ~ 実施報告



先日とある経営者団体で、株式会社フィールド・デザイン・ネットワークス代表の村上佳夫氏を講師にお迎えし、「ビジネス環境の変化が激しくなると戦略はどう変わるのか? ~ PDCA サイクルと OODA ループ ~」をテーマにご講演いただきました。講演では、VUCA 時代と呼ばれる不確実性の高い経営環境において、従来の PDCA サイクルだけでは対応が難しくなっている現状を踏まえ、米軍の戦略思想を起源とする OODA ループの本質について解説いただきました。単なる「スピード経営」ではなく、変化を前提とした状況認識と迅速な意思決定を繰り返すことで、環境変化に適応する組織づくりの重要性について学びました。また、宮本武蔵の『五輪書』や米軍ドクトリンを題材に、「拍子 (適切なタイミング)」や「空 (状況認識と行動の一致)」といった考え方と OODA ループとの共通点についても紹介され、経営戦略と軍事戦略の親和性について理解を深める機会となりました。